

○裏方研修会 in くじゅう坊ガツル・タデ原湿原 活動報告

- ・日時 2015年7月17日(金)～20日(月)
- ・会場 九重青少年の家

7月17日～20日に、九州は大分県にあるラムサール条約湿地「くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」において、「裏方研修会 in くじゅう坊ガツル・タデ原湿原」を開催しました。これは、同日程で開催された「KODOMO ラムサールくじゅう坊ガツル・タデ原湿原」に合わせて開催されたもので、KODOMO ラムサールを裏から支えるスタッフの仕事を手伝いながら、プログラムの進め方や裏方仕事について学ぼうというものです。

初日は、現地までの移動が中心。この日はちょうど台風11号が西日本に上陸した日で、参加者、スタッフ共々、九州への移動ができるかどうか不安でしたが、なんとか無事に到着することができました。夜には宿泊地で滋賀大学名誉教授の川嶋宗継先生よりユースの活動についての講義を実施していただき、初日は終了。2日目は KODOMO ラムサールの開催初日。午前中はスタッフミーティングに参加し全体の流れをつかんだ後、準備作業の手伝い。昼食後は参加者の受付を手伝い、いよいよ KODOMO ラムサールの開始。最初の劇団シンデレラのミュージカルにも協力しました。その後のプログラム中は見学が主でしたが、プログラムの進め方を学んだり、裏方として会場のセッティングを手伝ったりしました。3日目は野外プログラムと KODOMO 会議。KODOMO ラムサール参加者と共にくじゅう坊ガツル・タデ原湿原の自然を堪能し、環境、生物、湿原維持に向けての取り組みなどについて学びました。夜の会議では、ユース&劇団シンデレラでもひとつグループを作り、くじゅう坊ガツル・タデ原湿原の宝物について考えました。最終日の4日目は、いよいよ最後の KODOMO 会議。この日も見学が主でしたが、最後の「宝物ポスター」の貼り付けを手伝い終了となりました。KODOMO ラムサールを裏で支えるスタッフの、仕事や大変さを感じることができた4日間でした。

【参加者レポート】

○今回のスタッフ研修では、自分がスタッフ側の立場にたち、実際にスタッフの人がどのように行動しているかを自分の目で見て、体験できたので、とてもいい機会になったと思う。今回学んだことを他のユースのメンバーにも共有して、ユースでプログラムを作り、スタッフとしてプログラムを運営していけるようになりたい。

○スタッフの人たちがいろいろな準備をしていたりして、私もユースのスタッフとしてこれからみんなが会議をやりやすいようにしたりして、みんなの役に立てるように、ユースとしてがんばっていきたいです。



九重坊ガツル・タデ原湿原



劇団シンデレラ



宝物ポスター作りを手伝い

○北海道ラムサールネットワーク総会 活動発表

- ・日時 2015年7月27日(月)～29日(水)
- ・会場 大沼国際セミナーハウス



北海道内のラムサール条約湿地 13 箇所で構成される「北海道ラムサールネットワーク」の総会において、活動発表を行いました。会場となった大沼は、2012 年にラムサール条約に登録された北海道南部の淡水湖です。道内各地のラムサール条約湿地の行政担当者や NGO 関係者、活動している子どもたち、約 50 名の前でユースラムサールジャパンの紹介と、第 1 回交流会、およびエコライフ・フェアでの活動の様子について紹介しました。また、プログラムの 1 つとして、ミュージカルを上演した劇団シンデレラに協力し、参加した子どもたちに



大沼での活動発表

「大沼」の保全と ESD・GAP について伝えました。また、道内各地のラムサール条約湿地で活動する人たちに、湿地で活動するユースの全国組織があることを知ってもらうことができました。今回の発表にあたっては、北海道ラムサールネットワークの事務局を務める宮島沼水鳥・湿地センター、および大沼のある七飯町の担当者のご厚意により、ユースの活動発表の時間をいただくことができました。

【参加者レポート】

○今回の活動発表は、5 月に行った第 1 回ユースラムサール会議の内容を中心に行いました。発表を終えると、来年中学生になる子供たちが「入りたい！」と言ってくれたので嬉しかったです。

○今回の交流会は思っていたより小学校低学年の子が多かったので発表の内容がまだ少し難しかったかなと思った。しかし、みんな真剣に聞いてくれたのでユースラムサールの存在とどんな活動をしているかということはしっかりと理解していただけると思います。

○劇団シンデレラの環境ワークショップ (共催事業)

- ・日時 2015年8月8日(土)
- ・会場 アイプラザ宮



劇団シンデレラ主催の環境ワークショップに協力。一般参加者 50 名を対象に、ワークショップとして、「藤前干潟の生きものカルタ」を用いたゲームを実施しました。干潟の生きものの特徴をヒントとして伝え、その答えとなる生きものをカルタの写真から選んで当ててもらうもので、干潟の生きものの特徴と生態について学んでいただくことができました。劇団シンデレラの活動拠点である一宮市での活動ということで、広報活動をしっかりと行ってくださっており、地元の方が多数参加。参加対象は親子であり、参加者は幼児～大人までと年齢の幅は広がりましたが、その分、ワークショップも親子で楽しんでいただくことができました。小さな子どもから大人まで、幅広い年齢層に「藤前干潟の生きものの魅力」を伝えることができました。劇団シンデレラ主催事業ということで、「湿地保全と ESD・GAP」をテーマとするミュージカルの上演も行われ、ユースラムサールジャパンのメンバーも、その上演に協力しました。



ワークショップ開催中

【参加者レポート】

この日は、劇団シンデレラのワークショップの中でユースラムサールとして、湿地のことや藤前干潟の生き物を知ってもらうために湿地の説明と生き物カルタをしました。今回は、いつもの発表とは違い、湿地やそこにいる生きものを知らない小学生や幼稚園児に説明しなければいけません。僕は、全体を通していつもよりゆっくりと話すことを心がけましたが、緊張してしまい早口で話してしまいました。次回からは、緊張しないで話せるように、事前準備からしっかりとやっていきたいです。ただ、企画自体はとて面白いと高評価だったので、次回は藤前干潟だけでなく、宮島沼はもちろん様々な湿地の生き物を混ぜてカルタを続けていきたいです。

○第2回ユースラムサール交流会 in 琵琶湖（環境デーなごやブース出展）

- ・日時 2015年9月19日（土）～22日（火）
- ・会場 久屋大通公園、琵琶湖水鳥・湿地センター、
ウォーターステーション琵琶など



第2回目の交流会のテーマは「琵琶湖と人との関わり」。日本一大きな湖として知られる琵琶湖ですが、同時に日本で一番広いラムサール条約登録湿地であり、また日本で最も人と密接な関係を持つ湿地でもあります。そんな琵琶湖を北から東から西から南から…ぐるっとまわって様々な角度から見て学ぼうというのが今回の企画の主旨でした。

初日(9月19日)に開催された「環境デーなごや」においては、会として単独でブースを出展し、来場者にユースラムサールジャパンの活動を伝えると共に、ワークショップとして「ストーンペイント」を実施。約200名がブースに来場しました。また、野外ステージにおいて活動発表を実施。一般来場者約50名の前で、各活動湿地で行われている取り組みについて発表しました。

2日目は琵琶湖の北部と東部においてプログラムを実施。滋賀県長浜市の湖北野鳥センターの見学を実施し、北湖(琵琶湖の北部)の環境について学習した。その後、長浜市の尾上浜にて水草の観察を実施。実際に琵琶湖に入り、北湖の水の透明度を感じると共に、水草の多様性について学習しました。夕方からは彦根港に移動して、琵琶湖の伝統食(湖魚料理)についての講義を実施。講師のKODOMO ラムサールでお馴染の中村大輔先生の講義のより、琵琶湖の食文化について学習しました。また、実際の湖魚料理のお弁当を食べ、琵琶湖の食文化の一端にふれました。

3日目は琵琶湖の西部、高島市において漁業体験を実施。船に乗り琵琶湖の沖合に出てビワマスの漁業体験を実施しました。また同日に高島市の針江生水の郷を見学。地元のガイドの案内のもと、針江地区残る昔ながらの湧水を利用した仕組みである川端(かばた)を見学。昔ながらの湧水を利用した生活を見学しました。また、漁業体験において釣ったビワマスは、夜、調理して試食しました。

4日目は琵琶湖の南部、大津市においてプログラムを実施。琵琶湖から流れ出す唯一の河川である瀬田川において、外来魚(ブルーギル)釣りを実施。釣った外来魚はウォーターステーション琵琶において解剖を行い、胃内容物を観察しました。また、昼食にはブラックバスのフライを調理し試食。午後からは、滋賀県水産試験場の菅原和宏氏、琵琶湖河川レンジャーの佐々木和之氏による講義を実施し、琵琶湖の環境や生物、外来魚問題、保全に向けての取り組みなどについて学習しました。

【参加者レポート】

今回のユースでは2日で琵琶湖の北湖と南湖に行ったりと色々ハードでしたが、普段では絶対に出来ない体験などできて、本当に良い経験になりました。そして何より、今回のユースラムサールが無事に終わることができたのは、たくさんの人のおかげだなとつくづく思いました。

そして『なぜ湿地が大切か』という答えは、私は、湿地によって人は繋がっているからなんじゃないかと思いました。今回の体験を上手く活かしてこれからの活動に活かしていきたいです。



環境デーでの活動発表



琵琶湖に入って学習



ビワマス釣りに出発



川端の見学



ウォーターステーション琵琶で

記念撮影